

公開シンポジウム「黄砂・ダスト輸送と越境大気汚染」

主催：日本学術会議農学委員会風送大気物質問題分科会・日本沙漠学会（夏季シンポジウム）

日時：2009年6月8日（月）13:00～17:00

場所：東京大学理学部4号館2階（1220号室）（〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1）

13:00～13:05 開会挨拶：真木 太一（日本学術会議会員・風送大気物質問題分科会委員長、筑波大学北アフリカ研究センター、九州大学名誉教授）

13:05～16:55 座長：山形俊男（日本学術会議連携会員、東京大学）

（1）地上気象データ、衛星画像で見た黄砂

黒崎 泰典（鳥取大学乾燥地研究センター）

（2）全球モデルでみたアジアの砂漠起源のダストの役割

田中 泰宙（気象庁・気象研究所）

（3）現地観測から推定したタクラマカン砂漠のダスト総量について

甲斐 憲次（名古屋大学）

休憩（10分間）

座長：大政謙次（日本学術会議連携会員、東京大学）

（4）黄砂が運ぶもの

岩坂 泰信（金沢大学フロンティアサイエンス機構）

（5）風送越境大気汚染とその生物影響

青木 正敏（日本学術会議連携会員、東京農工大学）

（6）深海底に降り積もる黄砂

植松 光夫（日本学術会議特任連携会員、東京大学海洋研究所）

16:55～17:00 閉会挨拶：鈴木 義則（日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授）

連絡先：〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学 北アフリカ研究センター 真木 太一

Tel・Fax：029-853-6442 E-mail：maki.taichi.fe@u.tsukuba.ac.jp